



入隊にあたっての決意を語る高橋さん

まちのわだい

自衛隊入隊者 凛とした表情で決意を

3月16日、この4月に自衛隊に新入隊する高橋魁都さん(七日町)の激励会を開催しました。今年は金山からの入隊が高橋さんひとり。倍率4倍を突破した高橋さんは「入隊しても金山で育ったことを忘れずに、いつか地元で恩返しをしたい」と凛とした表情を見せ、決意を込めたあいさつがありました。今後のご活躍を期待します。

あかり工作 手作りのライトアップを

2月17日、蔵史館に集まった町民の皆さんが、街並みライトアップに使用するシェードづくりを行いました。シェードは金山の街並みとの相性を考え、麻ひも製。針金で形を固定した風船に、ボンドを付着させた麻ひもを巻き付ける作業を行いました。数日乾燥させ、風船を割れば完成となります。翌18日にはライトアップについての意見交換会を開催。現在ライトアップを主導している東京都市大学建築学科小林教授からは「4月からは地区を拡大して、100個のシェードを取り付けたい。いずれは町の皆さんにバトンタッチするのが理想」と展望を含めたライトアップの趣旨が説明されました。



特殊な仕掛けでつくる麻ひも製のシェード

かねやま大楽校 若者の婚活支援へ

2月27日、「かねやま大楽校」の研修会が開催され、婚活の支援に携わる側およそ40名が、婚活を取り巻く現状や心構え、注意点を学びました。来年度開校するかねやま大楽校は、交流機会の創出などを通して、若者の結婚促進を目指します。この日は、婚活アドバイザーの阿部有希さんの講演。「結婚希望者はまず、自分を知ることが重要。それから徐々に異性心理の理解に取り組むべきだ」と阿部さんは婚活の心得を話してくれました。「相手の条件は3つまで」「婚姻届を提出する日、言わばゴールを明確に決める」などの具体的な方策が示されると、参加者は驚いた表情で聞き入っていました。



蔵史館で開催された「かねやま大楽校」の研修会

卒業設計で複合施設 山形大生が提案

3月6日から2週間にわたり、山形大学地域教育文化学部の青木俊太郎さんの卒業設計である「複合施設道草ハウス」の模型が中央公民館ロビーに展示されました。青木さんは当町とも関わりが深いサークル「チーム道草」に4年間所属。「お世話になった金山町に恩返しをしたい」という思いから、認定こども園めぐたま乳児保育部の建物をリノベーションし、公民館機能も持ち合わせた複合施設を設計されました。「通路が多く、行き止まりのない建物。周りは住宅街で公園も近くにあるため、散歩コースとして町民の皆さんの生活の一部になれるよう意識した」と青木さんは誇らしげに話していました。



複合施設「道草ハウス」の模型と設計者の青木さん



笑顔でしゃんしゃん体操を行う参加者の皆さん

しゃんしゃん体操 楽しく健康長寿に

2月10日、高齢者の皆さんおよそ30名が、ストレッチやしゃんしゃん体操等の運動に励みました。しゃんしゃん体操は「花笠音頭」をアレンジした体操。参加者は音頭のリズムに合わせて、張り切って体を動かしていました。講師の田中玲さん(NPO法人Apila)は「笑いながら運動することが大事。自然と呼吸ができ、脳の活性化にもなる」とポイントを話します。「仲間と楽しく活動できる。運動の良さを多くの方に知ってもらいたい」と参加を呼びかけるのは、『もっと若返り会』の阿部紀志子さん(上台)。4月以降も町立金山診療所等で、同様に活動していく予定です。

産後のボディケア 自宅でも簡単に

2月16日、子育て支援センターおひさまを会場にママのためのボディケア講座が開催され、参加した10名を超えるママたちが、産後の体をケアする体操などを学びました。「出産は思っている以上にママの体に負担がかかる。次の妊娠に向けても体のケアは重要」と指導するのは助産師の高橋優先生。続けて先生は「骨盤のゆるみ、お腹まわりのたるみ、肩まわりのこりなど症状は様々。特に上半身を支える骨盤まわりを引き締めることが大切だ。骨盤低筋群を意識的に動かすのがポイント」と説明をしながら、簡単な体操を伝授。ママたちからは「頑張ってた自宅でも続けたい」と決意の言葉が聞かれました。



お子さんとともにボディケア体操をする参加したママたち

Kamuro Snow Ride Festival 雪上の戦い

3月11から12日の2日間、グリーンバレー神室を会場に「2017Kamuro Snow Ride Festival」が開催されました。国内で同種のイベント開催は稀であり、全国各地から60名の選手が集結。なんちゃってレースAクラスで2連覇を果たした松岡靖友さんは、今大会最も遠方である静岡県からの参戦。「雪の上で大好きなバイクレースができる。バイク好きにとって、こんなにワクワクすることはない。4年前から出場しているが、年に1度の楽しみになっている」と話し、仲間の皆さんと雪上での健闘を讃えあっていました。来年以降も金山独自の雪上イベントとして、全国の皆さんに楽しんでいただきたいものです。



雪を巻き上げながらバイクを走らせる選手たち



談笑しながら短歌づくりに励む参加者の皆さん

ホットさろん ゆったりと「立春 歌の会」

2月16日、ホットさろん「立春 歌の会」が開催され、参加者の皆さんはお茶を飲みながら談笑を交え、ゆったりとした時間の中で短歌づくりを楽しみました。高齢者や介護者が気軽に集い、相談や情報共有ができるように毎月開催しているホットさろん。この日は、介護のことや自身の健康のこと等、身近なテーマや素直な気持ちを各々が短歌で表現しました。日頃から俳句をたしなむ鶴沼さんは「普段から自分の気持ちをメモしておくことが大切」と話します。この日ならではの作品を紹介します。『ホットさろん 笑顔に会えて 続けたい 介護の知恵に 感謝の言葉』



キックオフイベントに参加した100名を超す皆さん

子育て応援キックオフイベント 支援強化へ

3月22日、「かねやま子育て応援キックオフイベント」が開催され、親子連れなど100名超の参加者で賑わいました。今年度さらに強化していく子育て支援策。この日は鈴木町長から『かねやま子育て応援宣言』が発表され、PRポスターがお披露目されました。続いて、(有)柳田電子工業の柳田隆広社長から「かねやま子育てカンパニー」への参加表明があり、企業も連携して子育てを応援していくことが宣言されました。「金山は近隣の市町村よりも支援が充実している」と支援策へ期待を膨らませる参加したママたち。このイベントが足がかりとなり、金山は子育て応援の町として着実に前進していきます。

(株)大商金山牧場から金山中へ 講演台の贈呈

3月8日、(株)大商金山牧場の小野木重弥代表取締役社長が金山中学校を訪れ、「金山町の子どもたちのために」と講演台を贈呈されました。

「お世話になっている金山町の皆さんに何か恩返しをしたい」という想いから実現した金山中学校への寄附。小野木社長は「社員には金山出身者が多いが、みんな地元愛が強い。金山中の生徒たちが成長した時、地元の大きな雇用の場となっていけるよう鋭意努力していく」と力強く語ってくれました。贈呈された講演台は金山杉製の特注品。お披露目は入学式になる予定です。上村校長は「生徒たちのために大切にに使わせていただく」と謝辞を述べていました。



小野木社長から上村校長に手渡された目録



優秀選手を讃える会での山形県女子Aチームの皆さん

柴田・谷口ペア 日本ランキング5位に

平成28年度にソフトテニスで活躍した選手らを表彰する「優秀選手の健闘を讃える会」において、柴田明さん・谷口舞優さんペア（金山小6年・真室川ジュニア所属）が『小学生女子ランキング5位』として日本ソフトテニス連盟表彰を受賞しました。その他にも、第33回全日本小学生選抜ソフトテニス選手権大会で、山形県女子Aチームのメンバーとして、女子団体優勝に大きく貢献したことが認められ、山形県ソフトテニス連盟表彰も受賞しています。

この春小学校を卒業するお二人。ペアを組んだ3年間、多くの好成績を残してきました。中学生となっても、今まで以上のご活躍を期待しています。

第60回にふさわしい熱戦 白銀スキー大会

2月26日、第60回白銀少年スキー選手権大会（白銀会・星川廣会長主催）が神室スキー場で開催されました。

第60回を迎えた記念すべき本大会。町内小学校はもちろん、県内各地のほか遠くは秋田県湯沢市からも参加があり、合計213名の選手たちによる熱戦が繰り広げられました。距離競技の男子リレーで有屋スキースポ少が2位に入賞したほか、コンビ競技1部男子では寒河江清弥くん（金山小6年）が金山勢では唯一の優勝を果たしました。次代を担う少年のスキー技術の向上とスポーツ精神の養成を理念とする白銀会。今後も競技スキーの発展のため、本大会が末永く開催されることを願います。



白熱した女子リレー競技スタートの様子